

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できていると思う	大きからず小さからずといった感じです。	
	2 職員の適切な配置	適切である	人数は増員があっても良いかと。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関とトイレ以外は段差をなくしている	あまり訪問の機会がないので何とも言えません。施設と利用人数が合っていないと思います。	車椅子トイレ誘導時は 2人体制で行う事に対応している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	出来ていると思う	清潔かつ個々に合った環境作りは努力していると思います。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	出来ていると思う		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	出来ていない		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修を随時実施している		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	出来ている		現状を継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	出来ている		現状を継続する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	出来ている		現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	出来ている	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	外出活動等も取れ入れ外部との交流をはかっている	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	工場見学や外出行事を学校休日日に行う	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個々に合った方法で実施している	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	出来ている	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	変更点など日々の出来事はミーティングで職員に通史している	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	常務日報に記録している	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	出来ている	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	出来ている		事前に職員間で話し合い。情報交換のうえ参加している。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		医療的ケアの必要な子供を現在受け入れていない。当面は難しい。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	送迎時に先生との情報交換を行う。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	出来ていない		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の促進	電話、面談にてやりとりをしている		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	出来ていない		年に三回学校交流を行っている。(播磨西小学校)
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	出来ていない		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学・契約時に説明している	利用期間が長い為、継続中なので何度も説明されなくても大丈夫。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	更新時に変更箇所は詳しく説明している	都度、内容確認等の説明をしてくれている。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現状出来ていない		職員の外部研修への参加する等内部研修を含めて準備中。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳に日々の出来事を記入し写真も貼り付けているのでその日の様子が分かりやすいよう工夫している	プログラムを無理に組まず、双方が共有するようにはしている。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	すぐに助言が出来ない場合はミーティングを行いその後返答している	どちらともないですが都度、何かある時は話を出来る環境になっている。	送迎時を中心に情報の交換をしている。定期的に医療相談の場を設けている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状出来ていない	父母の会がない。特に必要性は求めている。	次年度に向けて、複数の保護者が交流出来る行事を計画したい。父母の会は結成されれば支援したい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	すぐに対応している	こちらの要望をしっかり対応してくれています。	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に合った方法で実施している	都度、情報交換ができています。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月会報を発行。	毎月の予定を紙面にしてくれていて、わかりやすい。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	出来ている。	特に問題なし。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成しミーティングを行っている	しっかり周知されている。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半年に一回の安全経路・役割分担等の確認実施	日々、訓練しているのかの情報は入っていない。	
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員間での話し合いは行っている		関係各所を連携して情報交換をしている。それを職員間で情報を共有している。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当者なし		自傷、他害のある児童に対し、保護者と相談しながら怪我等の防止に努めている。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの申告のみで対応		保護者との連携はとれているが今後は医師との連携を検討している。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底			